

# 安全な使い方冊子に

県内高校生 小中学生向け作成



県内3高校の生徒たちが、小中学生向けにスマートフォンの安全な使い方をまとめた冊子をそれぞれ作成し、県警本部で16日、お披露目した。

作ったのは菊池高スマートアクリティ部と、熊本学園大付属高、熊本高専熊本キャンパスの各会員志。16日はそれぞれの代表が内容を解説した。3校とも、会員制交流サイト（SNS）には、アカウント（利用する権利）を乗っ取られて被害に遭うといった危険が潜むことを指摘。有害サイトにつながるのを防ぐ「フィルタリング」なども紹介した。

県警サイバー犯罪対策課の井野新輝課長は、「年代の若い若者の呼び掛けならば、小中学生も聞き入れやすいと思う」と評価。菊池高3年の本田美紗季さんは、「難しい言葉を避け、短い文章にした。小中学校で防犯講話をする時に使いたい」と話した。（丸山宗一郎）

高校生が作ったスマートフォンの安全な使い方をまとめた冊子。右から熊本学園大付属高、菊池高、熊本高専熊本キャンパスの生徒たち＝16日、県警本部